

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>【環境部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資源再利用を促進するためにストックヤード設置した際に雪捨て場同様の固定資産税減免制度の導入と補助率の増強を図りたい。ストックヤード設置補助は通年受けられる体制とされたい。 ・ エネルギー供給先の見直し電気料金の削減を実施されたい。 ・ エネルギーシフトをはかり、地産のエネルギー自給率の向上を図りたい。 ・ 中小水力発電や風力発電、木質バイオマス発電の積極導入やスマートハウスの導入などエネルギー施策の展開と地域活性化の導入策を図りたい。 	<p>雪置き場と同様の制度導入には、市全体のストックヤードの実態を把握する必要がある、土地の所有状況や有償・無償による貸付等を確認しながら検討してまいります。</p> <p>ストックヤードの助成につきましては、申請が年間数件程度であり、現時点で補助率の見直しは検討しておりません。また、予算確保に重要であることから、前年度における設置の要望調査を継続してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（環境部資源循環推進課）</p> <p>電力の供給先につきましては、市庁舎においては平成29年7月に、小中学校等においては平成30年2月に、市立病院においては平成31年2月に、それぞれ見直しを行い、電気料金の削減を図ったところであります。また、上下水道局においても見直しを進めており、令和2年度から実施する予定となっております。</p> <p style="text-align: right;">（環境部環境企画課）</p> <p>循環型社会の構築に向けたエネルギー地産地消を目的に、平成29年度から市クリーンセンターのバイオマス発電による電気の売電と小中学校等への電力供給を同一事業者とし、地産エネルギーの自給率向上を図っております。</p> <p>今後につきましても、再生可能エネルギーの普及促進を図り、地産エネルギーの自給率向上に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（環境部環境企画課）</p> <p>中小水力発電につきましては、水利権の調整や維持管理負担の大きさ、また、風力発電につきましては、風速が強い山間部や丘陵地などの適地における景観保全や生態系への影響など、採算性や事業費確保も含めて課題が多く、市単独での導入は難しいものと考えておりますが、発電事業を計画する民間事業者に対しましては、盛岡市再生可能エネルギー発電設備の設置に関する指針に基づき指導しながら、可能な支援を行い導入の促進を図ってまいりたいと存じます。</p> <p>木質バイオマス発電につきましては、市域における木質バイオマス燃料の供給体制がなく、大型発電の導入は難しいものと考えておりますが、木質バイオマスエネルギーは森林</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミ処理広域化における新クリーンセンター最終候補地の決定は地域住民の合意を前提とされたい。 ・ ゴミ集積所における貸監視カメラ事業を実施されたい。 	<p>が7割を占める本市において地域特性に適した再生可能エネルギーと認識しておりますことから、熱利用も含めた活用を図るため、関係部署と連携し、木質バイオマス利用推進アクションプランに基づき、市公共施設への木質バイオマス機器の導入や燃料供給体制の構築による地域活性化などに取り組んでまいります。</p> <p>また、住宅で使用するエネルギーの管理・標準化を行うスマートハウスは省エネに効果的であることから、平成28年度から住宅用太陽光発電システムの導入と併せて設置するホームエネルギーマネジメントシステムへの補助を実施しており、今後もその普及促進に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">(環境部環境企画課)</p> <p>県央ブロックにおける新たなごみ焼却施設の整備予定地の選定につきましては、平成31年3月に開催した県央ブロックごみ・し尿処理広域化推進協議会において「盛岡インターチェンジ付近を最も有力な候補地とし、地域との協議を優先して継続する。」としており、説明会、懇談会等を重ねてきているところであります。</p> <p>引き続き、地域住民等との対話を重ね、施設整備に当たり環境対策に万全を期すことや、廃棄物エネルギーを有効に利活用した地域振興・まちづくりを進めること等への理解を深めていただけるよう努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">(環境部廃棄物対策課)</p> <p>ごみ集積場所への監視カメラの設置につきましては、違反ごみ防止・抑止につながるものと存じておりますが、設置する際には、設置費用に加え、機器の管理や情報管理などの課題も考えられることから、他都市の事例も調査しながら、研究してまいりたいと存じます。</p> <p>違反ごみ対策につきましては、今後とも、きれいなまち推進員と連携し、掲示物による啓発活動や違反ごみが排出される頻度が多い場所等への職員の立合指導等による対応に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">(環境部資源循環推進課)</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<ul style="list-style-type: none"> • ごみ減量化に向けた具体的工程表を示されたい。またゴミ処理広域化の前提となる「ゴミの分別方法」の統一について工程を示されたい。 	<p>一般廃棄物処理基本計画の目標年度である令和8年度までに、1人1日当たりの家庭ごみ排出量や事業系ごみの排出量を10%削減する目標としており、これに向け盛岡市ごみ減量化行動計画を策定しております。具体的取組として、平成30年度から地区別データを活用した周知啓発を実施しており、容器包装廃棄物削減への取組に関する協定に基づく取組を平成29年度から実施しているほか、「事業系ごみの減量」では、令和2年度から資源化可能な事業系古紙のクリーンセンターへの搬入規制を始めるなど、ごみ減量に向けた各施策を計画的に展開しております。</p> <p>また、ごみ処理広域化に係るごみの分別方法の統一については、新たな焼却施設の稼働1年前までに、受け入れるごみの種類の標準を定めることとしております。</p> <p style="text-align: right;">（環境部資源循環推進課、廃棄物対策課）</p>
<ul style="list-style-type: none"> • ごみ減量の観点から「フードドライブ」を推進されたい。 	<p>「フードドライブ」を推進することにつきましては、SDGs（エスディーズ）への取組につながるとともに、食品ロスの削減、事業系ごみの減量、生活困窮者に対する食糧支援などに寄与するものでもあり、ごみ減量の観点からも重要なものであると存じております。</p> <p>これまでも、環境イベント開催時にフードドライブを実施することにより、未利用食料品の有効活用につなげておりますが、今後におきましては、各部署でのイベント開催時においてフードドライブを実施できるよう、庁内の連携により取り組んでまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（環境部資源循環推進課）</p>
<ul style="list-style-type: none"> • 気候変動対策を強化されたい。盛岡市として「非常事態宣言」を発表して対策を講じられたい。 	<p>平成30年に制定された気候変動適応法に基づき、令和2年度に策定予定の盛岡市地域気候変動適応計画において、気候変動により生じうる被害を回避・軽減する方策について検討することとしており、「非常事態宣言」も含め気候変動対策の強化を図ってまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（環境部環境企画課）</p>